

～ 創業 120 周年の感謝の気持ちを込めて～

「南海電鉄交通遺児等育英基金」に追加拠出します

南海電鉄（社長 山中 諄）は、昨年（平成 17 年）創業 120 周年という節目の年を迎えたことを記念し様々な事業を実施しましたが、今般記念事業の一環として「南海電鉄交通遺児等育英基金」に 5,500 万円を追加拠出したします。

「南海電鉄交通遺児等育英基金」とは、南海電鉄が創業 100 周年を迎えた昭和 60 年に、交通遺児など修学困難な高校生に奨学金の給付を行うことを目的として、1 億円の基金を拠出し設定した公益信託のことです。平成 17 年度末までに延べ 393 人、奨学金累計約 9,500 万円を給付してきましたが、昨今の金利水準の低迷などにより、17 年度末時点で残高が約 5,300 万円となっていました。そこで、18 年度分の給付後にも 1 億円の基金残高を保持できるよう、今般 5,500 万円を追加拠出することといたしました。

また同じく創業 120 周年記念事業の一環として、昨年から開催している「南海沿線リレーフォーラム」ですが、5 月 21 日（日）に第 3 回目を河内長野市立文化会館ラブリールホールで開催いたします。「中世史の十字路・河内長野」をテーマに、対談やパネルディスカッションなどを行います。

詳細は下記のとおりです。

記

1. 「南海電鉄交通遺児等育英基金」への追加拠出について

- (1) 追加拠出金総額 5,500 万円
- (2) 拠出時期 平成 18 年 5 月中
- (3) 「南海電鉄交通遺児等育英基金」の概要

ア、名称 南海電鉄交通遺児等育英基金

イ、設定経緯・目的

昭和 60 年、南海電鉄創業 100 周年を記念し、保護者が交通事故や偶発的犯罪その他不測の災害により死亡又は重度障害の状態となり、経済的に修学困難となった、主として大阪府内の高等学校に在学する生徒に対して奨学金を給付し援助することを目的に、1 億円の基金を拠出し設定されました。

なお、本基金は返済の必要はありません。

ウ、給付額 国公立：月額 15,000 円 私立：月額 30,000 円

エ、受託者 住友信託銀行株式会社

オ、給付実績

平成 17 年度末まで 延べ 393 人・奨学金累計約 9,500 万円

17 年度は、22 人に対し総額 630 万円を給付

2. 第3回「南海沿線リレーフォーラム」について

- (1) 開催日時 平成18年5月21日(日) 開演13時30分(開場13時)
- (2) 場 所 河内長野市立文化会館ラブリーホール/大ホール
- (3) 入 場 料 無料(事前申込制・1,300名様)
- (4) タイトル 中世史の十字路・河内長野
- (5) 内 容
 - ア、対談「文学の力」
田辺聖子氏(作家)・河内厚郎氏(文化プロデューサー)
 - イ、パネルディスカッション「星に守られた空中都市」
棕本彦之氏(グルメ杵屋取締役会長)・佐々木幹郎氏(詩人)
西條陽三氏(西條合資会社蔵主)・立花香寿子氏(観世流能楽師)
- (6) 申込方法
 - はがき、FAX、インターネットで受け付けます。
 - 郵便番号、住所、氏名、年齢、職業(学校名)、電話番号、参加人数を明記のうえ、以下の方法にてご応募ください。5月12日(金)必着
 - はがきで申込
〒539-0027 読売新聞大阪本社 広告局「南海沿線リレーフォーラム」係
 - FAXで申込 06-6361-3318
 - インターネットで申込 <http://osaka.yomiuri.co.jp/>
- (7) 主 催 南海電気鉄道株式会社、読売新聞大阪本社、河内長野市
- (8) 後 援 河内長野市教育委員会、河内長野市観光協会
- (9) 協 力 財団法人河内長野市文化振興財団
- (10) 備 考 南海沿線リレーフォーラムの第1回目は「はじまりは堺から」をテーマに、17年6月17日堺市民会館で、第2回目は「巨人たちの城下町・和歌山」をテーマに、10月21日和歌山市民会館小ホールで、それぞれ開催しました。